



NSSOL、国内データ連携の本格化を目指す実証実験に参加

～国際標準 NGSI による接続実証にて IoX プラットフォームが接続成功～

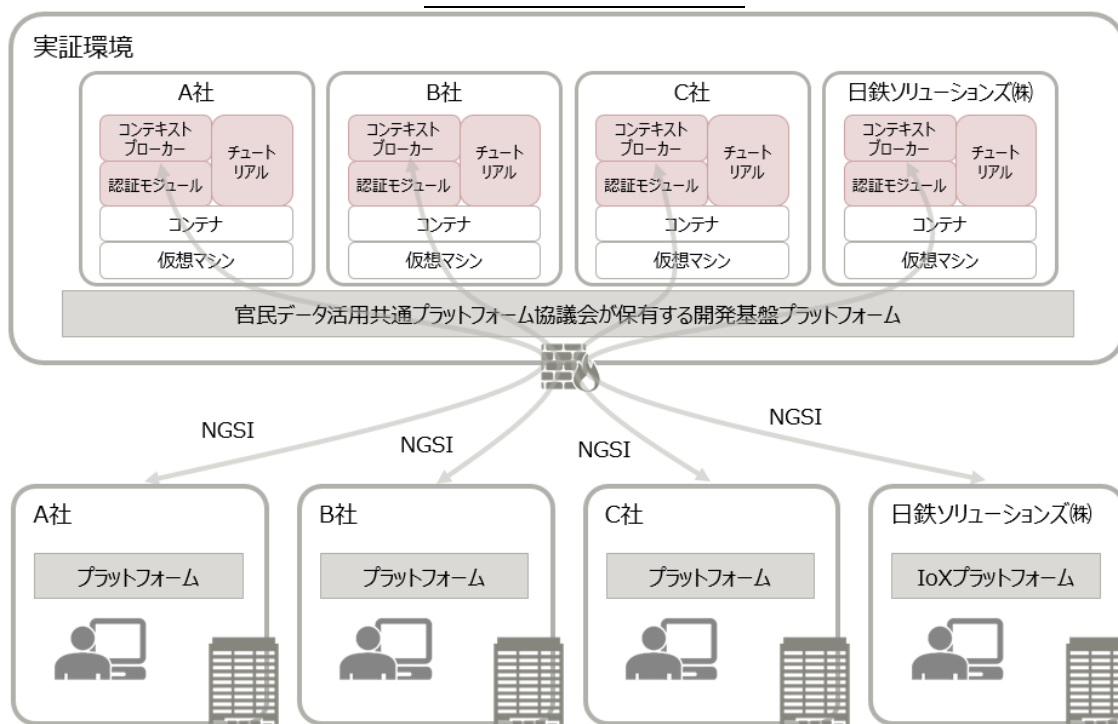
日鉄ソリューションズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：森田 宏之、以下 NSSOL）は、一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会（<https://dpc-japan.org/> 所在地：東京都港区、代表理事 奥井規晶、以下 DPC）が実施した、国際標準である NGSI(*1)によるプラットフォーム接続実証に参加し、NSSOL が提供する IoX プラットフォームとの接続実証に成功しました。

DPC は、日本政府の「官民データ活用」政策において、多様な利活用者が共通に使える国際標準ベースのプラットフォームが必須と考え、日本発の国際標準であり欧州で豊富な実績をもつ NGSI による共通プラットフォームの社会実装を進めています。今回の実証では、DPC 独自の開発・テスト環境上で行われ、NSSOL の IoX プラットフォームが、NGSI の API(*2)を介してデータ連携が可能な事を確認しました。

NSSOL では、モノづくりの現場から生まれた IT ソリューションパートナーとしての知見を活かし 2016 年に「IoX ソリューション事業推進部」を設立し製造・流通業向けのソリューション開発に取り組み、2017 年には、「IoX ソリューション」(*3)の提供を開始し、お客様の現場における実適用が進んでいます。

NSSOL は、これからも DPC が主導する実証活動を通じた官民データ活用共通プラットフォームの利活用における課題の整理推進活動に参加することで、官民データ活用共通プラットフォームの社会実装促進による Society5.0 社会の実現に貢献してまいります。

今回の接続実証のイメージ



■ 一般社団法人官民データ活用共通プラットフォーム協議会（DPC）について

日本の強みを発揮しつつ、低コストで相互連携や横展開が可能な官民データ活用を実現して社会課題解決へ貢献するため、日本発の国際標準である NGSI 等のオープン API を活用したエコシステムを形成し、官民データ活用共通プラットフォームやその上で稼働する各種サービスを構築し、国内外での横展開をはかることを目的とした民間組織で、国内主要 I T 企業及びスマートシティ先進自治体が参加しています。

*1: NGSI : Next Generation Service Interfaces。Open Mobile Alliance が 2010 年に初版を仕様策定した次世代サービスインタフェース。最新版 NGSI-LD(Linked Data)は ETSI(欧州電気通信標準化機構)により公開された。

*2: API:Application Programming Interface。プログラムからソフトウェアを操作するためのインターフェイス。

*3:"IoX ソリューション"とは「モノのインターネット」を意味する"IoT(Internet of Things)"に「ヒトのインターネット」を意味する"IoH(Internet of Humans)"を加えた当社の考え方"IoX(Internet of X)" に由来する当社のソリューションであり、"Things(モノ・設備等)"と"Humans(ヒト)"によって支えられた現場を対象に、"IoT"と"IoH"の仕組みを高度に連携・協調することで、現場の動きをデジタル化し、より安全・安心でかつスマートな現場業務を実現する仕組みを意味します。

●NSSOL 発表プレスリリース[2017/1/12] : IoX ソリューションの提供を開始
https://www.nssol.nipponsteel.com/press/2017/20170112_160000.html

【本記事に関するお問い合わせ先】

IoX ソリューション事業推進部 E-mail:iox-mkt@jp.nssol.nipponsteel.com

【報道関係お問い合わせ先】

総務部 広報・I R 室 鹿島 TEL : 03-5117-5532 E-mail : press@jp.nssol.nipponsteel.com

・NSSOL、NS Solutions、NS(ロゴ)、IoX、IoX ソリューションは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

・本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。